

情報交差点 INFORMATION

日浦学区献血のお知らせ

皆様のご協力をお待ちしています。

日時：7月11日(土)
午前9時半～午後3時半
(受付は午後3時まで)

場所：日浦公民館
主催：日浦学区献血推進協力会



ロビー展示のご案内

◆ 風薫るさつき展
豊永桓夫さん(あさひが丘9区在住)
【協力】花台制作提供:齊藤充さん
(あさひが丘17区在住)
6月4日(木)～6月14日(日)

図書室よりお知らせ

◆ 6月～7月のオーナーズ・ラックは
図書室の本棚の一部を日浦地区に”ゆかり”のある人にお任せする「オーナーズ・ラック」。今月からのオーナーは、4月に日浦公民館に着任して2か月が経った寺尾一朗館長です。

ひとことという多趣味。中身は図書室内の紹介ボードを見に来てください。意外な本の選択も気になるようです。

◆ 図書ボラが選ぶ「無理やり 特選コーナー」
図書ボランティアさんが図書の入れ替えをするときに、合わせて本を選んでいる「無理やり特選コーナー」。この度の選本テーマは「青春のとき」です。いくつになっても青春はあります。その本のなかに『ときめき』はみつかりますか。



令和8年(2026年)

6・7月号

(No.256) ひうら丸



日浦公民館 だより

公益財団法人 広島市文化財団 日浦公民館

〒731-3361 広島市安佐北区あさひが丘三丁目23番13号

TEL/FAX (082) 838-3220 (メール) hiura-k@cf.city.hiroshima.jp

(ホームページ) http://www.cf.city.hiroshima.jp/hiura-k/

開館時間：午前8時30分～午後10時

受付時間：午前8時30分～午後5時15分 ※木・金は午後9時まで

休館日：原則 火曜日・祝日

【6月】2日・9日・16日・23日・30日

【7月】7日・14日・20日(海の日)・21日・28日

窓口へは、できるだけ17時(木曜日、金曜日は20時45分)までにお越しいただきますようお願いします。



ホームページはこちら

本紙に掲載している事業の申込みは、特に記載のあるものを除き **6月1日(月)午前8時半～** 電話または来館にて受付します。

- ◆ 会場について特に記載の無い場合は、日浦公民館が会場です。
- ◆ お申し込みの際にお知らせいただく氏名・連絡先などの個人情報、目的以外には使用しません。
- ◆ お申し込み締切日以降のキャンセルにつきましては、参加費の返金はできません。ご了承ください。
- ◆ 「高齢者いきいき活動ポイント事業」について、日浦公民館の各主催事業は原則押印対象としています。ただしロビー展や公民館まつりなど、不特定多数が出入りする事業については対象外です。

《講座情報の見方》 ☎→申込みの要不要 ¥→参加費の有無 「どなたでも」等→対象 「○人」→定員

堂畝椰子(どううね なぎこ)さん、現在高校1年生。

中区の自宅から似島中学校(広島市南区似島)にフェリー通学し、戦時中は1万人もの負傷者が運ばれた歴史を持ち、今もなお旧陸軍の遺構が各所に残る似島を、モノクロフィルムで撮影してきました。

似島の風景や友だちの写真など中学生が感じた等身大の「へいわ」を表現した作品です。

モノクロ銀塩写真作品展『私のへいわ』

(協力：被爆三世・四世プロジェクト これからの私たちは)

開催期間：7月1日(水)から30日(木)まで【ロビー展示】



堂畝椰子 プロフィール

2010年広島市生まれ。高校生カメラマン。非営利創作グループ「被爆三世・四世プロジェクトこれからの私たちは」運営メンバー。

写真家の母の影響で6歳の夏休みからモノクロ銀塩写真を始める。オリンパスOM2を愛用。

【写真展へのプロローグ】

海の近くの軍用トンネル、検疫所の棧橋跡、移設された馬匹焼却炉、正門前の防空壕跡、校庭のそばには原爆慰霊碑――。

通学路にも、友達とサイクリングで島を一周する時も、当たり前のように目にする似島の景色の中には、いつも「戦争のあと」があった。似島に通う毎日の中で、それは私の日常の一部になったが、この島が持つ戦争の歴史にはいつまでたっても現実味を感じられなかった。今の学校のあたりに埋められ、生きて島を出ることができなかった人々たちにとって、似島はどんな場所だったのだろう。

この春、私は似島中学校を卒業した。似島で過ごした3年間を振り返る時、思い出されるのは友達と交わした何気ない会話や部活のこと、テストのこと、先生のこと。それから、撮影を通して仲良くなった島の方々のやさしい笑顔。商店の方や近所のおじいちゃん、おばあちゃん、島外からお父さんと釣りに来ていた小さな子。あちこちで寄ってくる猫たちとのふれあいも、ささやかな楽しみだった。

そんな思い出のひとつひとつが、シャッターを切りたいと思う瞬間だったと思う。思い出に形はないけれど、写真は記録として残っていく。私の撮影する写真はモノクロだ。どんな色かな?と想像する楽しみがある。実際の色とは違いかもしれないが、頭の中で色づいた世界が映像のように動き出す気がしておもしろい。

大人になった時、中学生の私が感じた「私のへいわ」はどんな色に見えるのだろうか。今はまだ、想像もつかない。

《お知らせ》

令和8年8月1日から、窓口業務(公民館使用承認申請書受付(仮予約含む)、印刷サービス、主催事業申込受付、図書利用の新規受付など)の受付時間が下記のとおり変更となります。どうぞよろしくお願いいたします。

曜日	変更前	変更後
毎週木・金	8:30～21:00	8:30～19:00

※他の曜日の受付時間(8:30～17:15)は、これまで通りで変更はありません。ご利用の方は、できるだけ17時までにお越しいただきます。開館時間(8:30～22:00)の変更はありません。

人生100年時代に向けた

「あさきた健康習慣講座」

必要/無料/どなたでも/30人

健康づくり全般に取り組む安佐北保健センターが日浦公民館とコラボしたカラダにやさしい講座です。

まあ、来てみんさい!聞いてみんさい!

毎日を元気にする休む力

『きちんととろう!睡眠・休息』

日時 7月3日(金) 10時～12時

講師 マイライフ株式会社 睡眠健康指導士

野田歩美 さん

申込み 6月26日(金)までに

安佐北区地域支えあい課

(安佐北保健センターTEL 819-0586)

または日浦公民館へ申込み



広島市高齢者作品展「達人たちの夢 2026」作品募集

9月5日(土)～9月12日(土)に合人社ウエンディひと・まちプラザ(まちづくり市民交流プラザ・中区袋町)で開催する同展の作品を募集しています。

日頃の創作活動の成果を発表してみませんか。

対象 市内に在住、通勤または市内で活動している60歳以上の人

部門 日本画、洋画、書道、写真、工芸、手芸

内容 令和7年8月1日以降に独自に創作した未発表作品。1人1点。

申込 募集案内(申込はがき付)を次の施設で配布しています。

配布先 公民館、区役所、合人社ウエンディひとまちプラザなど

申込期間 7月1日(水)～7月31日(金)必着

※原則先着順200点(無審査、出品料無料)。

【問合せ】広島市文化財団ひと・まちネットワーク部管理課内 広島市高齢者作品展実行委員会 事務局

(TEL082-541-5335)

この公民館だよりは、中国新聞あさひが丘販売所、中国新聞安佐町南販売所、読売センター安・緑井販売所のご厚意により、配布いただいております。いつもありがとうございます。